



社会福祉法人 慧誠会

障がい者支援部門のご案内

● 帯広ケア・センター ●



089-1182

帯広ケア・センター

帯広市川西町西1線47番2

TEL 0155-59-2739 FAX 59-2990

E-mail: obi-care@grace.ocn.ne.jp

080-0027

人材育成館 ぷらう

帯広市西17条南41丁目4-14

TEL 0155-67-7564 FAX 67-7568

080-0023

稲田館 ステップ

帯広市西13条南40丁目1-12

TEL 0155-67-1881 / FAX 67-1878

E-mail: jiritsu.step@camel.plala.or.jp

多機能事業所 稲田館

帯広市西13条南39丁目6-7

TEL 0155-47-4738

080-0016

帯広生活支援センター

帯広市西6条南6丁目4ソネビル2F

TEL・FAX 0155-23-6703

E-mail: firenze@cameo.plala.or.jp

十勝障害者就業・生活支援センターだいち

TEL・FAX 0155-24-8989

E-mail: shien-daichi@ymail.plala.or.jp

支援部門の成り立ち

● 誕生

平成3年4月、精神保健法に基づく20名定員の通所授産施設として帯広ケア・センターは開設されました。6ヘクタールの農地を活用した農耕・園芸作業、加えて生産物を帯広市内で販売を行う等の活動を行ってきました。こうした日課の提供の他生活上の相談・就労に関する支援・自立支援も必要に応じ随時行ってきました。精神保健福祉法改正に伴い平成9年、授産施設に付置事業として精神障害者地域生活支援事業(現在の帯広生活支援センター)が開始され、平成12年、帯広生活支援センターは、帯広ケア・センターから独立する形で、市内中心地に開設し総合相談・情報提供・地域交流の三本柱を掲げるとともに、精神障害者のケアマネジメントおよび退院促進支援の試行を行ってきました。

● 転機・・・ケアセンターは今

平成18年10月、障害者自立支援法に基づく事業所に移行し、障がいの種別に関わらず、利用が可能な体制を作り始めると共に、活動拠点を帯広市中心街へ拡大しました。平成25年4月障害者総合支援法に引き継がれ更に、就職支援および食品加工や飲食店経営等により六次産業化にも力を入れています。

私たちが大切にしていること

● ご本人の成長と自律

私たちの支援は、ご本人の精神的成長の促進を第一に考えます。地域社会で暮らしゆくためには、補完支援や環境を整える支援・配慮は重要であります。最も大切にしたいのは、自分を律する力の成長であると考えています。

● 暮らしと就業の両面を支援

私たちは、地域の中で、生活の支援と就労の支援の両面に取り組めることを持ち味に、事業の展開をすすめています。暮らしや働くとの相談を入口に、ご本人やご家族の意向に沿い、自立へ進むことが出来るものと考えております。

● 関係機関との連携を大事に

誰でも暮らしや働く上で、困難な課題は生じるものです。このような時に、ご本人が課題を乗り越えてゆけるよう必要に応じて、機関と連携をとり、効果的に対応を、図ることが重要です。日頃から機関との繋がりを大切にしています

帯広ケア・センター

帯広市川西町西1線47番2

サービスの概要

就労移行支援事業 [ジャリブ] 20名定員
一般企業への就職に向け一定期間、職場実習の活用等により準備を進めてゆきます。その他職業適性をふまえた求職活動支援も行っています

就労継続支援B型 [フロンティア] 20名定員
野菜やお花を育てる活動・ごぼう茶や干しイモ等のオリジナル商品の製造・販売や喫茶活動の役割を持ちます。活動に対して作業工賃が支給されます



地域活動支援センター [ひろば]
生産・販売活動、交流会、サークル活動などの日中活動の拠点を提供します。

帯広電信通り商店街
地域活動支援センター2拠点

分場①[惣菜・ご飯屋 でんしん] 帯広市東2条6丁目
分場②加工品製造拠点「ひだまり」帯広市東4条6丁目

